

事業所における 放課後等デイサービス自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月1日

事業所名 日光市こども発達支援センターつばさ園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ H30 年度からホームページによる公表を実施し、毎年 3 月に更新しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・ 第三者評価は実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・ 担当の臨床心理士と言語聴覚士が年 1 回行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・ 支援員全員で大まかな活動計画を立て、それに沿ってリーダーがその日の利用児に合わせた活動を提示して検討しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・ 平日は学校の様子を保護者から聞いて、その延長としての過ごし方を一人ひとりに合わせて設定しています。長期休暇は活動的に過ごせるようなプログラムを考えています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・ 現在は利用児が 3 名のため、支援者と関わりながらできる活動を考え、取り入れました。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・ 朝の打ち合わせで、全職員の予定を確認。その後、必要な職員同士で詳細を確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・ 支援終了後、清掃すると終業時間なので、特記すべき内容についてはその日共有し、全体的な振り返りは翌日実施しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・特別支援学校とは日常の情報共有・連絡調整は行っていませんが、親子通園に支援学校の先生が見学にいらしたので学校での様子を伺うことができました。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			・医療的ケア児受け入れ実績なし。設備面・人員配置面において、今後も受け入れは難しいと思われます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		・現在のところ、該当するケースがありません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	・未実施。近くに該当する交流の場がないので、今後も実施は難しいと思われます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				・送迎時に保護者と利用日の様子を伝え合うことができます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○	・未実施。事業所主催では実施できる環境がないので、保護者のニーズがあれば他機関の開催案内をしていきたいと思えます。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				・契約時に書面で説明しています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				・今年度は、放課後等デイサービスの家族でバスを利用し、壬生のおもちゃ博物館と子ども科学館のプラネタリウムを見学し、保護者との交流を持つことができました。

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		・不定期ですが、行事に関する通知等年5回発行しています。また活動概要については、毎回入口のボードに提示し、保護者に発信しています。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		・現時点では、利用者の障がい特性に配慮する観点と個人情報保護双方の観点から、不特定多数との交流は難しいと考えています。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・保護者には、令和2年4月改定版日光市保育施設安全管理・危機管理マニュアルを基に、新規契約・契約更新時に順次周知しています。職員には、回覧にて周知済みです。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・緊急連絡カード（引き渡しカード）を保護者に記入してもらい、内容を職員が把握し、緊急連絡袋に入れて非常時には持ち出して対応することの周知をしています。月1回避難訓練を行っています。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・昨年度から虐待防止委員会を立ち上げ、虐待につながりそうなケースや療育の中で保護者や職員の言動・行動で気になったことを、2か月に1回の頻度で話し合い、防止意識を高めました。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		・危険やけがを伴う場合以外の身体拘束はしないことを職員間で共通理解しています。利用者の特性に応じて、やむを得ず身体拘束が必要になるケースについてのみ保護者に了解を得て計画に記載しています。現在は、該当児はいません。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				・該当者はいませんが、アレルギーがあった場合は保護者に聞き取りをして医師に指示書をお願いするしくみがあります。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				・ヒヤリハットは事案なし。	